

令和2年10月入学東京海洋大学卓越大学院プログラム
「海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」
学生2次募集案内【博士前期課程対象】

海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラムでは、本学修士課程（博士前期課程）令和2年10月入学生を対象に、プログラム学生を募集します。

1 プログラム概要

海洋関連の労働人口の減少が危惧される現代社会において、多様な価値・システムを創造し、世界における我が国の海洋プレゼンスを再び確立するために、将来の研究リーダーや国際社会など多様な場で活躍できる研究者の育成を目標とします。この目標の達成に向けて、5年間を通じた体系的な教育課程を編成し、コースワーク、論文作成指導、学位論文審査等の各段階が有機的なつながりを持って博士の学位授与へと導いていくプロセス管理のもとに大学院教育を実践します。

本プログラムの趣旨を理解し、プログラムへの参加を希望する学生の応募をお待ちしています。

【本プログラムのディプロマ・ポリシー】

1) 本プログラムの目指すべき人材像

ビッグデータ解析や機械学習法をリテラシーとして身につけ、本学が有する専門知識とフィールドに関する豊富な経験を元に、的確に人工知能の性能評価を行い、その社会実装を主導するイノベータ・高度専門技術者や海洋政策の立案を行う人材を養成する。

2) 学生が身につけるべき能力、素養の目標

研究科の各研究分野におけるディプロマ・ポリシーに加え、以下が必要となる。

- ・ ビッグデータ解析や機械学習などのデータサイエンスについて、AIの社会実装に必要なレベルの知識とスキルを身につけていること
- ・ それぞれの専門分野において、ビッグデータや機械学習の技術を応用すべき課題を明確に把握し、その課題解決に向けて、応用技術の企画、立案ができること
- ・ AIの社会実装に向けたビッグデータや機械学習の応用について、科学的に有効性、妥当性を評価するための研究計画の立案、検証、解析ができること
- ・ ビッグデータ解析や機械学習の結果に基づいて適切な意思決定や情報発信能力を身につけること（資源評価・管理分野）
- ・ ビッグデータ解析・機械学習の結果を科学的に正しく解釈し、活用できること（海洋観測分野）

2 学位

本プログラムを修了したことにより授与する博士学位は、「博士(海洋科学)」または「博士(工学)」となります。本プログラムを修了後は、学位記に「海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」を修了した旨が付記されます。

3 カリキュラム及び修了要件

本プログラムの対象学生は、所属する研究科の修了要件に加えて、以下に示すプログラムが別途定める科目を履修し、一定の単位数を取得後に、博士論文研究基礎力審査 (Qualifying Examination、以下「QE」という。)*¹及び質保証部門 (Quality Assurance Unit、以下「QAU」という。)によるプログラム修了審査*²に合格することが必要です。

QEの実施時期については、プログラム学生へ別途通知します。

博士前期課程

科目区分	科目名	必要単位数	概要	所属専攻の修了要件単位としての扱い
AI(機械学習)系	人工知能と機械学習 (2)	5 単位	機械学習をリテラシーとして身に付け、AI社会実装の基盤となる知識を習得します	研究科共通科目として修了要件単位数に算入できます
	深層学習 (2)			
	機械学習演習 (1)			
ビッグデータ系	データサイエンス概論 (2)	5 単位	ビッグデータ解析をリテラシーとして身に付け、AI社会実装の基盤となる知識を習得します	
	データ工学 (2)			
	データサイエンス演習 (1)			
プログラム専門科目	各専攻における「卓越大学院プログラム」指定科目	4 単位		所属専攻分野の講義または演習・実験・実習は必修科目として、所属専攻の講義または演習・実験・実習は選択科目として修了要件単位数に算入できます
QE* ¹ ※修了要件に含む	フィールドワークとしての乗船実習、連携機関へのインターンシップを含む	—		

※ 1 QEは、博士前期課程 (修士課程) 2年次の後期に行います。

※ 2 プログラム修了審査について

QAUによるプログラム修了審査は、博士後期課程3年次に行います。

博士後期課程の修了要件は、プログラム学生へ別途通知します。

4 応募資格

令和2年10月に本学大学院修士課程 (博士前期課程) 1年次に入学し、かつ修士の学位取得後に引き続き本学博士後期課程に進学する意思を有し、さらに本プログラムの教育・研究理念に合致する目標を持つ者。ただし、定員の一部 (5名程度) については、博士後期課程への編入学を希望する社会人にも応募を認めます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年5月に応募できなかった場合に限り、令和2年4月に本学大学院修士課程 (博士前期課程) 1年次に入学した者にも応募を認めます。

※応募にあたっては、主指導教員の承認を得て、研究内容及び面接試験日程等の確

認を必ず行ってください。

5 募集予定人数

若干名

6 応募提出書類

令和2年10月9日（金）～10月15日（木）

※ 原則、電子メールによる書類提出とします。

【書類提出先】 marine-ai_office@o.kaiyodai.ac.jp

1) 学部成績証明書

2) 卓越大学院プログラム 申請書

3) 研究計画書（別紙様式、本プログラムへの志望動機及びAIまたはビッグデータに関する内容が含まれていること）

※ 本プログラム選抜にあたり検定料は必要ありません。

※ 本学の学部にも所属していた場合、学部成績証明書は提出不要ですが、学部在籍時の学籍番号をお知らせください。

※ 申請書及び研究計画書は、必ず指導教員の承認を得てから提出してください。

7 選抜基準

(1) 1次選抜：書類審査

学部での成績及び志望理由、研究計画等から総合的に評価する。

※ 一度提出した出願書類の変更及び返還は行いません。

(2) 2次選抜：面接審査

面接審査では提出された研究計画書の内容に関する5分間のプレゼンテーション及び質疑応答（計15分）により、学力・研究能力とともに、本プログラムへの理解と意欲などについて総合的に評価する。

8 選抜スケジュール

① 1次選抜（書類審査）の合格発表：令和2年10月19日（月）

② 2次選抜（面接審査）の実施日：令和2年10月20日（火）

※ Cisco Webexによる面接審査を予定しています。

9 合格発表

令和2年10月29日（木）（予定）に本プログラムホームページ

（<https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/marine-ai/>）並びに合格者へ個別に連絡します。

10 プログラム参加手続等

プログラム参加手続に関しては、合格者に別途、本プログラム事業担当より連絡します。

なお、本プログラムを履修することによる追加の入学料・授業料は必要ありません。

11 各種支援

卓越大学院プログラム学生には、プログラム内で実施される、海外研修への渡航費の補助や、プログラムを展開する経費が補助される場合があります。支援内容については、随時、卓越大学院プログラム事業担当にご確認ください。

これらの支援に加えて、産学官の連携による「海洋AIコンソーシアム」により、プログラム学生と民間企業とのマッチングを支援するようなサポートや、博士後期課程においては、連携機関においてプロジェクト業務に参加する機会（レジデントシップ）等のサポートも受けられます。

さらには、本プログラムの学生が学業に専念できるように、選抜コンテストにおいて優秀な成績を修めた学生の中からQAUにおいて選抜された学生に教育研究支援経費の支給が行われる予定です。

12 個人情報の取扱い

本プログラムにおける出願書類、各種申請書類等に記載されている個人情報、並びに必要な応じ所属専攻より提供のあった個人情報は、各種選抜及び受入れ準備、教育・研究指導等の目的において利用します。

13 安全保障輸出管理について

東京海洋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京海洋大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

14 書類提出先・問合せ先

東京海洋大学教務課卓越大学院プログラム事業担当

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

TEL : 03-5463-0503

Mail : marine-ai_office@o.kaiyodai.ac.jp

本プログラムHP : <https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/marine-ai/>